

神通川森林計画区

次期森林計画についての森林管理署の考え方



立山室堂と大日岳、奥大日岳

富山森林管理署

1. 計画区の概要

○ 神通川森林計画の国有林野は、富山県を東西に分ける呉羽丘陵の東側(富山市、魚津市、黒部市、立山町、上市町、朝日町)に位置し、その面積は95,425haで神通川森林計画区全森林面積の47%を占めています。

○ 本計画区は、急峻な山岳地帯が多いため国有林野のほぼ全域が土砂流出防備、水源かん養等の保安林に指定されており、広域にわたる流域の山地災害防止、水源としての役割を担っています。

○ 本計画区は、自然景観に恵まれていることから、国有林野面積の79%に当たる76千haが、中部山岳国立公園等の自然公園に指定され、登山や自然観察などレクリエーションの場として多くの人々に利用されています。

○ 国有林の森林構成は、天然林が58%、人工林が2%、高山帯等その他が40%となっています。天然林では、ブナ・ナラ等の広葉樹が多くを占め、人工林の樹種割合は、スギが89%を占めています。

2. 現行計画の概要

(1) 国有林野の管理経営の基本方針

国土保全、水源のかん養、自然環境の保全等の公益的機能を積極的に高めていくことを基本とし、併せて国有林野の活用等による地域産業の振興等に寄与することとして、具体的には個々の森林を、重点的に発揮させるべき機能に応じて、3つの類型に区分し適切な管理経営を行います。

水土保全林

土砂崩れの防止といった国土の保全、水源かん養など、安全で快適な国民生活を確保することを重視して森林を守り育てます。



森林と人との共生林

野生動物の重要な生息地や希少な植物群落の保護など貴重な自然環境の保全や森林とのふれあいの場を提供することを重視して森林を守り育てます。

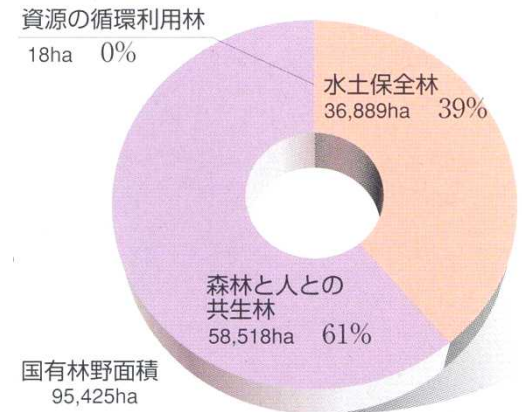


資源の循環利用林

水源のかん養などの公益的機能に配慮しながら、持続的・計画的に木材を生産するための森林づくりを行います。



神通川 森林計画区の 機能類型別面積



(2)主要事業の計画

地球温暖化防止のための森林吸収源対策(森林整備により、光合成による二酸化炭素の吸収・貯蔵を高める取組)、急峻な山岳地帯における国土保全等、計画区における事業意義を踏まえ、平成19年度～平成23年度の5ヶ年間ににおける伐採、更新、保育、林道、治山を計画しています。

伐採量

現行計画量(m3)	
主伐	間伐
	21,009

更新量

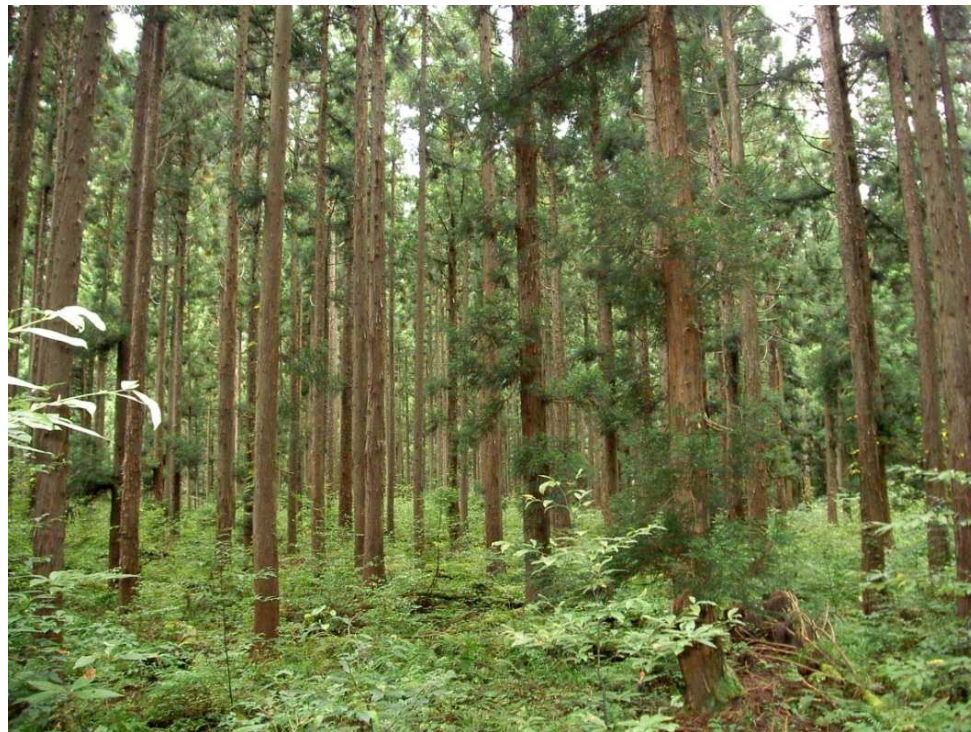
現行計画量(ha)	
人工造林	天然更新

保育量

現行計画量(ha)		
下刈	つる切	除伐
	17	135

林道

現行計画量		
	箇所数(箇所)	延長(m)
開設	1	1063
改良	36	450



スギ人工林(黒部奥山国有林)

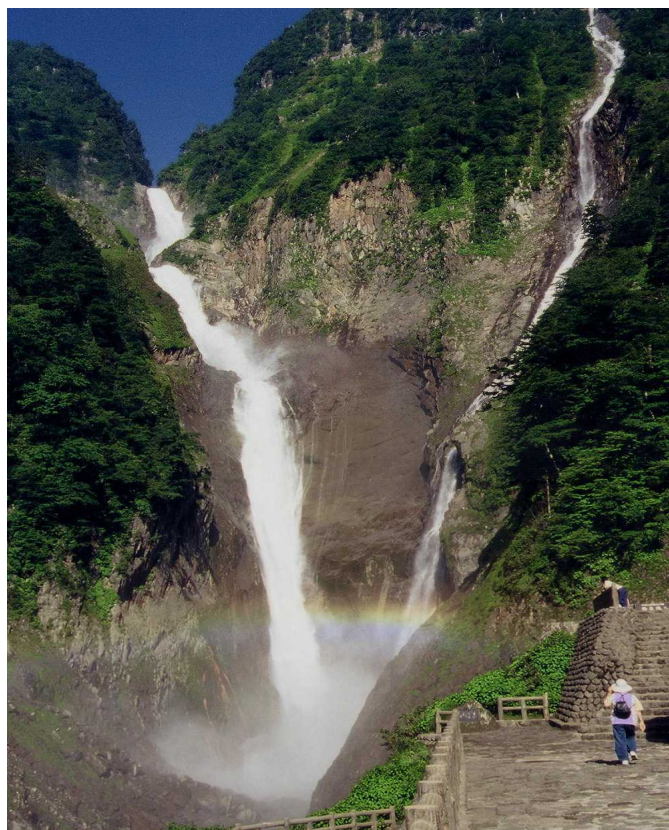
治山

現行計画量(箇所)	
溪間工	11
山腹工	4

(3) 国有林野の維持、保存に関する取組

○ 希少な野生動植物の生息・生育環境の保全等を目的として9箇所にて保護林を設定しており、その適切な管理を通じて生物多様性を保全しています。

○ 山岳地域において、グリーンパトロール(GP)による貴重な動植物等の保護活動やボランティアによる外来種除去作業等きめ細やかな保全管理活動を行っています。



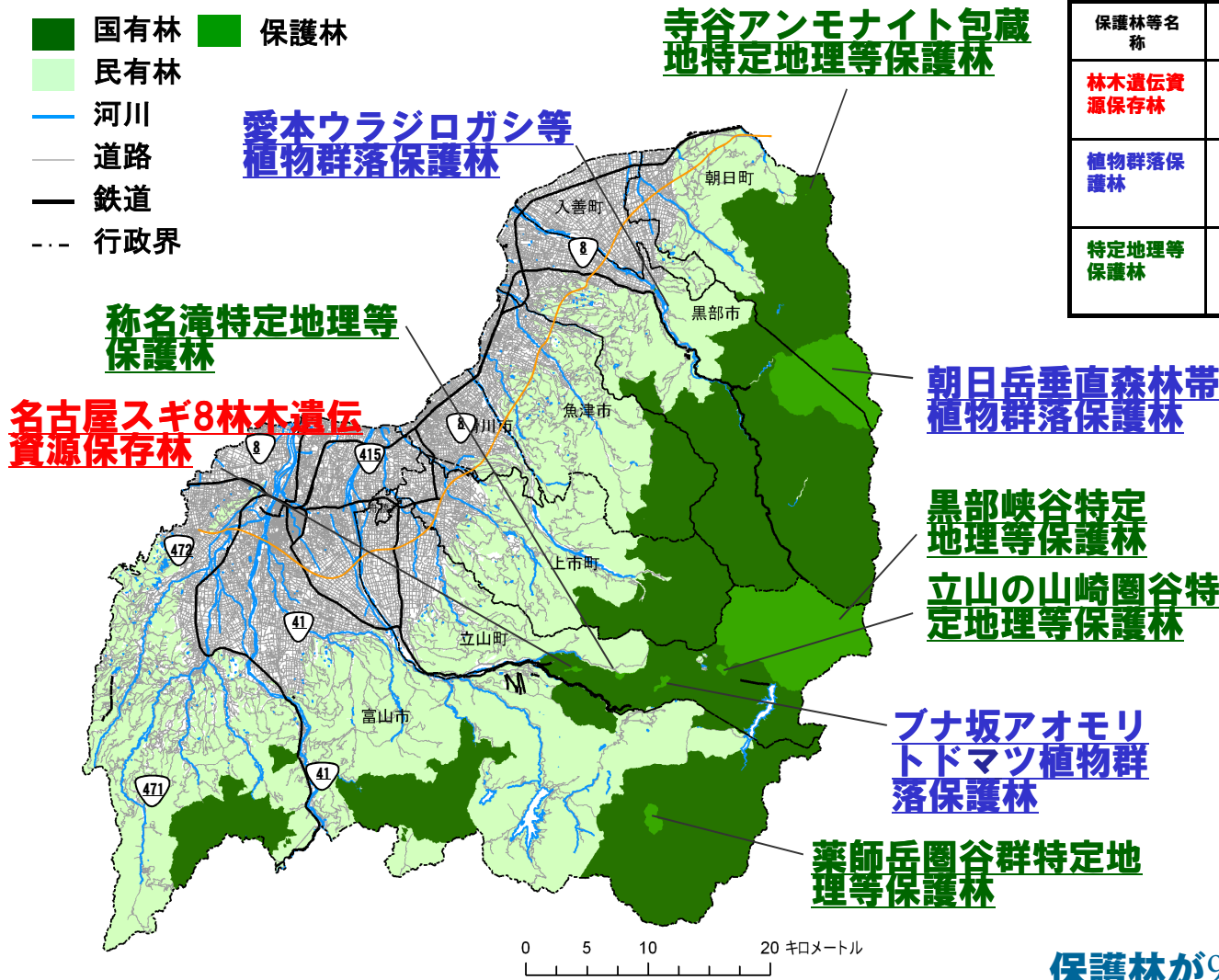
**称名滝特定地理等保護林
(立山町フナ坂国有林)**



**立山黒部アルペンルート沿線でのボランティアによる
外来植物除去作業 (立山町フナ坂国有林)**

保護林

- 国有林
- 保護林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界



**寺谷アンモナイト包蔵
地特定地理等保護林**

**愛本ウラジロガシ等
植物群落保護林**

**称名滝特定地理等
保護林**

**名古屋スギ8林木遺伝
資源保存林**

**朝日岳垂直森林帯
植物群落保護林**

**黒部峡谷特定
地理等保護林**

**立山の山崎圏谷特
定地理等保護林**

**ブナ坂アオモリ
トドマツ植物群
落保護林**

**薬師岳圏谷群特定地
理等保護林**

保護林等名称	特徴	面積 (ha)
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を自然生態系内に保存する。	18
植物群落保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落などを保護する。	4,872
特定地理等保護林	岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地の特殊な地形・地質等を保護する。	7,831



**ブナ坂アオモリトドマツ
植物群落保護林
(立山町ブナ坂国有林)**



**保護林が9箇所設定されています。
これらの場所は植物や特殊な地
形・地質の保護のために保全して
います。**

(4) 林産物の供給に関する取組

○ 本計画区では、木材の供給に占める国有林材の割合は高くありませんが、間伐など森林整備を通じて生産されるスギ等の供給に努めています。

(5) 国有林野の活用に関する取組

○ 本計画は、黒部奥山及びブナ坂国有林等をはじめ自然景観の優れた国有林野が多く、また、豊かな自然を背景にした観光業が重要な産業となっていること等から、国民の保健・文化・教育的利用に資するレクリエーションの森の活用を推進しています。

(6) 国民の参加による森林の整備

○ 国民参加の森林整備を推進することとし、ボランティア、NPO等による自主的な森林整備活動等のフィールドの場を提供しています。

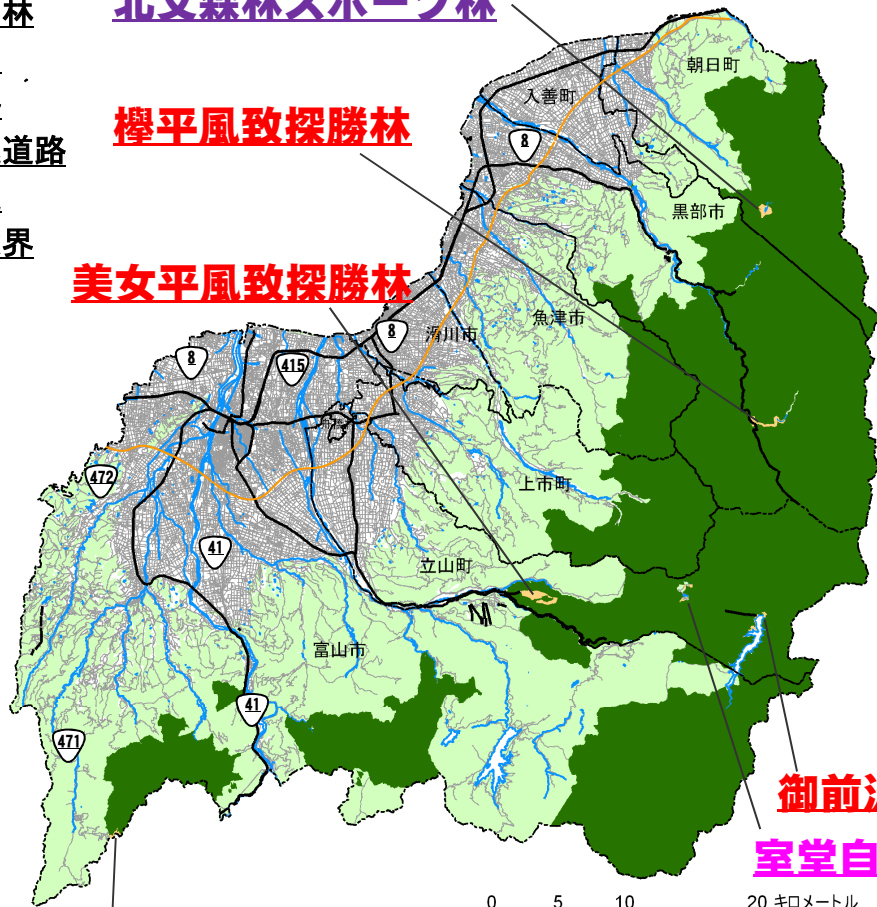
レクリエーションの森

- 国有林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 高速道路
- 鉄道
- 行政界

北又森林スポーツ林

樺平風致探勝林

美女平風致探勝林



白木峰自然観察教育林

レクリエーションの森

名称	特徴	面積 (ha)
自然観察教育林	自然観察学習に適した場として指定した地域。	36
森林スポーツ林	森林とふれあうアウトドアスポーツに適した森林。	63
風致探勝林	渓谷など潤いある自然景観を構成している地域。	271

レクリエーションの森として6箇所が設定されています。



白木峰自然観察教育林 (富山市野積国有林)

御前沢風致探勝林
室堂自然観察教育林



樺平風致探勝林 (黒部市黒部奥山国有林)

3. 次期計画の考え方

(1) 管理経営上の課題

○ 当地域の国有林については、急峻な山岳地帯が多いことから、土砂流出防備機能、水源かん養機能などの公益的機能が発揮できるよう、多様で健全な活力ある森林の整備・保全の取組を推進する必要があります。

○ 林野庁では、平成20年度から平成24年度までを第1約束期間として森林吸収源対策に取り組んでおり、当計画区においても、間伐等の森林整備を着実に実行していく必要があります。

○ 平成21年12月に策定された「森林・林業再生プラン」(農林水産省)を踏まえ、率先して森林施業における民有林と国有林が一体となった共同施業団地化に取り組み、路網と高性能林業機械を組み合わせた「低コスト・高効率の作業システム」の導入を図り間伐材の利用を推進する必要があります。

○ 当地域の国有林面積の79%に中部山岳国立公園が設定されており、また、各種保護林やレクリエーションの森を設定していることから、これらの森林を適切に管理していく必要があります。

(2) 計画内容等の考え方

① 森林施業の基本方針

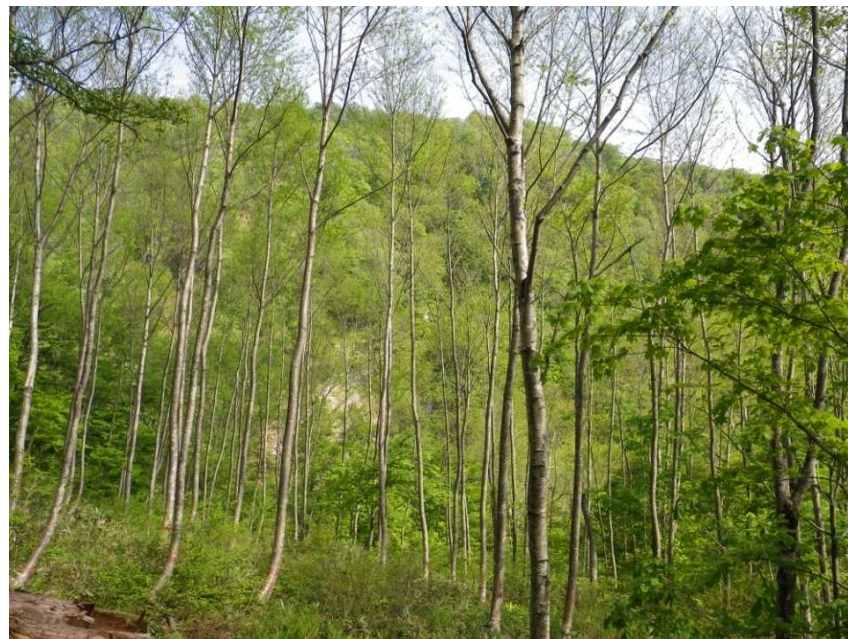
多様で健全な活力ある森林の整備・保全を推進するため、個別の森林の現況や期待される機能を踏まえ、望ましい森林の姿へ誘導することとし、必要な森林施業を行うこととします。

② 森林吸収源対策の推進

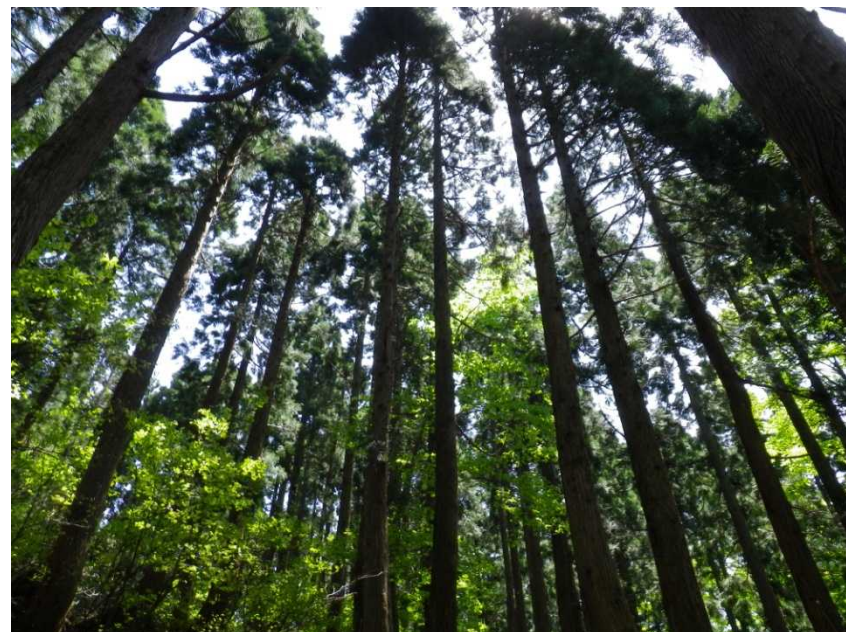
人工林については着実に間伐等の森林整備を実施します。

③ 民国一体となった施業団地の取組

民有林と国有林が一体となった共同施業団地化に取り組み、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト高効率作業システムの導入を図り利用間伐を推進します。



広葉樹林（富山市長棟国有林）



間伐予定箇所（富山市長棟国有林）